

MACF 礼拝説教要旨

2020年11月29日

「待降節に」

「絶望の中の光」

(イザヤ書 8章 23節～9章 6節)

8:23 今、苦悩の中にある人々には逃れる
すべがない。先にゼブルンの地、ナフタリの
地は辱めを受けたが後には、海沿いの道、ヨ
ルダン川のかなた異邦人のガリラヤは、栄
光を受ける。

9:1 闇の中を歩む民は、大いなる光を見死
の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

9:2 あなたは深い喜びと大きな楽しみをお
与えになり人々は御前に喜び祝った。刈り
入れの時を祝うように戦利品を分け合っ
て楽しむように。

9:3 彼らの負う軛、肩を打つ杖、虐げる者
の鞭をあなたはミディアンの日のように折
ってくださった。

9:4 地を踏み鳴らした兵士の靴血にまみれ
た軍服はことごとく火に投げ込まれ、焼き
尽くされた。

9:5 ひとりのみどりごがわたしたちのため
に生まれた。ひとりの男の子がわたしたち
に与えられた。権威が彼の肩にある。その名
は、「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、
平和の君」と唱えられる。

9:6 ダビデの王座とその王国に権威は増し
平和は絶えることがない。王国は正義と恵
みの業によって今もそしてとこしえに、立
てられ支えられる。万軍の主の熱意がこれ
を成し遂げる。

+++++

教会では、クリスマス（降誕祭）の4つ前
の日曜日から、クリスマスを準備する期間

に入ります。この期間を「待降節」と呼んで
います。

今日は、聖書が私たちに教えている約束の
救い主とはどういう方なのか、そして、私た
ちの状況はどういう状況なのか、みていき
ましょう。

1) 苦悩の中にある人々への希望

8:23 今、苦悩の中にある人々には逃れる
すべがない。先にゼブルンの地、ナフタリの
地は辱めを受けたが後には、海沿いの道、ヨ
ルダン川のかなた異邦人のガリラヤは、栄
光を受ける。

9:1 闇の中を歩む民は、大いなる光を見死
の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

状況をよくわかっていないのに、「大丈夫、
大丈夫、なんとかなるよ」とか「神様がご存
知だから心配ないよ」などと言われるとな
んとなく無責任な戯言のような気がして、
かえって幻滅することがあります。

「逃れる術がない」「どうしてよいのかわか
らない」という絶望感は経験しないことが
ベストですが、私たちの人生の中では、何度
かやってくるもののようです。

ある意味で、この「コロナウイルスによる世
界大の感染」という出来事はまさに「逃げ場
を失った状況」に近いかもしれません。

そういう中で聖書は、「状況の悲惨さ、困難
さ」を認めながらも希望があることを提示
しています。

2) 異邦人の地からの光

しかし、その希望は、いわゆるエルサレムの
神殿から発信されるものではなく、誰も期

待していない、いいえ、見捨てられていたような地域、ガリラヤからその希望が発信されるのだということです。

こういう「人間が考え出せる期待とは違う形」で神様からの希望が届くことが案外多いように思います。

イザヤは「異邦人、ガリラヤ」という言い方で、いわば、今までの政党的な歴史的な流れとはちょっと違う形で救いの希望がもたらされることを語っています。

3) 救い主が・・・

この救い主には4つの名前がつけられていて、それぞれそのお方の役割、使命などがそれらの名前から理解できるようになっています。

9:5 ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君」と唱えられる。

でも、この方は救い主なのですが、赤ちゃんとして、生まれ、信頼すること以外に「いわば救い主としての証拠」がありません。

しかし、その名前は素晴らしく

「9:5 ……その名は、「驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君」と唱えられる。」

驚くべき指導者、英語ではワンダフルカウンセラー。

力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれるということです。

今、私たちの状況の中に、最も必要な要素をもたらす存在がここに描かれています。

「驚くべき指導者」とは別の訳では「不思議な助言者」英語ではワンダフルカウンセラーです。

このお方は、私たちのカウンセラーとして寄り添い、悩みを知り、一緒に歩んでくださいます。

「力ある神」という名は「無から有を創り出すことのできる存在」という意味です。絶望から希望への道を創り出すことができるお方、それが聖書で教える救い主です。

「永遠の父」このお名前は「永遠の保護者」という意味を持っています。私たちをケアし、決して見捨てず、見放さず、弁護し、保護し続けてくださる救い主です。

「平和の君」とは、私たちの心の中に希望と平和をもたらすことのできる神、であり、同時に、神と人との間に平和を創り出すことのできる救い主という意味です。

この救い主こそ、私たちを絶望から救い出すことのできるお方です。

そのお方がやってきますよ、静かに待ちましよう。期待し、信じて待ちましよう。という心を整えるのが待降節。

この日曜日から、いわばクリスマスに向けての準備が始まります。

祝福がありますように。

＊ ＊

礼拝映像は

<https://youtu.be/EFOn7YBNirg>